

Requested Patent: JP61291482A

Title: MANUFACTURE OF FERTILIZER AND NUTRIENT FOR AQUATIC PLANTS ;

Abstracted Patent: JP61291482 ;

Publication Date: 1986-12-22 ;

Inventor(s): YOKOYAMA TSUNETAKA ;

Applicant(s): YOKOYAMA TSUNETAKA ;

Application Number: JP19850135099 19850619 ;

Priority Number(s): JP19850135099 19850619 ;

IPC Classification:

C05B7/00; C05C1/00; C05C3/00; C05F11/00; C05G1/00; C05G5/00 ;

Equivalents: ;

ABSTRACT:

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-291482

| ⑨ Int. Cl. ⁴ | 識別記号 | 庁内整理番号 | ⑬ 公開 昭和61年(1986)12月22日 |
|-------------------------|------|---------|------------------------|
| C 05 G 1:00 | | 7451-4H | |
| | | 7451-4H | |
| //(C 05 G 1:00 | | | |
| C 05 C 1:00 | | 7451-4H | |
| | | 7451-4H | |
| C 05 B 7:00 | | 7451-4H | |
| C 05 F 11:00) | | 8619-4H | 審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁) |

⑭ 発明の名称 水産植物の肥料及栄養剤の製造方法

⑮ 特 願 昭60-135099

⑯ 出 願 昭60(1985)6月19日

⑰ 発 明 者 横 山 恒 登 久留米市津福本町1575番地

⑱ 出 願 人 横 山 恒 登 久留米市津福本町1575番地

明 細 書

発明の名称
発明の条件

水産植物の肥料及栄養剤の製造方法

発明の詳細な説明

(1) 最近水産植物に対して施肥として肥料及栄養剤が1部になって来たが栄養要素の沈殿腐敗により栄養効果の十分なる効果が認められず色々と問題があったのであるが本発明による製造方法で製造した液状肥料、栄養剤は現在迄に製造及使用された液状肥料及栄養剤に比較して数倍優れている。

(2) 窒 素 (硝酸アンモニヤ及塩化アンモニヤ)

(硫酸アンモニヤ等)

10%~15%に対して

りん酸 (ナトリウム等)

を1%~2%

クエン酸又はリンゴ酸、酢酸を 30%~40%

ビタミン及アミノ酸を 0.5%~1%

及 水 58%~41%

割合で配合混合した液状肥料及、栄養剤は現在迄の肥料及栄養剤に比較して水産植物に対しては特に数倍の生長肥育する事が認められた。

クエン酸は液状肥料の製造に一般的に少量が沈殿腐敗防止の為に使用されて居たが海洋においては水産植物の栄養要素である窒素、りん酸等の栄養分を有効に持続させる為に多量のクエン酸又は酢酸を使用する事が必要で多量に使用する事で海洋での栄養要素、窒素、りん酸等の沈殿及腐敗防止嫌菌類の繁殖を防止及駆除する等の効果が認められた。

(3) 栄養要素である窒素、りん酸、クエン酸、ビタミン及アミノ酸を配合混合した肥料及栄養剤は現在迄の肥料栄養剤に比較して水産植物の生長促進及持続性嫌菌類の繁殖の防止駆除が数倍優れている事が認められた。

特許請求の範囲

| | | |
|-----------------------------|-------|-----|
| 窒素（硝酸アンモニア及塩化アンモニア硫酸アンモニア等） | 10～15 | 重量% |
| りん酸（りん酸ナトリウム等） | 1～2 | 〃 |
| クエン酸及リンゴ酸又は酢酸 | 30～40 | 〃 |
| ビタミン及アミノ酸 | 0.5～1 | 〃 |
| 展着剤 | 0.5～1 | 〃 |
| 水 | 58～41 | 〃 |

上記の比率の範囲内で栄養要素である窒素、りん酸、ビタミン及アミノ酸、クエン酸又は、リンゴ酸又は酢酸、展着剤を水に混合物一に溶解した水産植物の肥料及栄養剤は肥料、栄養剤として水産植物の生長促進及持続性、雑藻の繁殖防止及駆除に優れた肥料栄養剤の製造方法。

特許出願人 横山恒登